2026年度 第6回（11月）北辰テスト対策 予想問題　解答・解説

英語

1　放送文

No.1

Woman: Hello. Can I help you?

Riku: Yes. I'd like to send this to my friend in Canada. It's a book for her birthday.

Woman: Okay. Please put it here. Let's see. It's not so heavy.

Riku: When will it get to Canada?

Woman: In about one week.

Riku: Good. Her birthday is next month.

Question: Where are they talking?

（訳）女性：こんにちは。ご用件はなんでしょう？／リク：はい。これをカナダの友だちに送りたいんです。彼女の誕生日にあげる本です。／女性：わかりました。ここに置いてください。ええと、それほど重くないですね。／リク：カナダにはいつ着きますか。／女性：1週間くらいです。／リク：よかった。彼女の誕生日は来月なんです。
質問：彼らはどこで話していますか。

No.2

Ken: Mom, it's a nice sunny morning. I'm going to play soccer in the park with my friends after lunch.

Mother: Oh, the weather news said it will rain this afternoon.

Ken: Really? But it's so sunny now.

Mother: It said the rain will start at about one o'clock. And it will be cloudy all day tomorrow.

Ken: OK. Then we'll play soccer tomorrow.

Question: How will the weather be today?

（訳）ケン：お母さん、晴れていい朝だね。昼ごはんのあと、友だちと公園でサッカーをするよ。／母：あら、天気予報では今日の午後は雨が降るって言っていたわよ。／ケン：ほんと？でも今はこんなに晴れているよ。／母：雨は1時ごろに降り始めるって。それに明日は一日じゅうくもりだそうよ。／ケン：わかった。じゃあサッカーは明日にするよ。
質問：今日の天気はどうなりますか。

No.3

Woman: Excuse me. I'm looking for the City Museum. Do you know where it is?

Sota: Yes. Go straight along this street and turn right at the second corner.

Woman: The second corner?

Sota: Yes. Then you will see the museum on your left. It's a big white building.

Woman: Thank you very much.

Question: Where is the City Museum?

（訳）女性：すみません。市立博物館を探しているのですが、どこにあるかご存じですか。／ソウタ：はい。この通りをまっすぐ行って、2つ目の角を右に曲がってください。／女性：2つ目の角ですか。／ソウタ：はい。そうすると左手に博物館が見えます。大きな白い建物です。／女性：どうもありがとう。
質問：市立博物館はどこにありますか。

No.4

Emily is a student from Canada. She stayed in Japan for one year, and she is going back to Canada tomorrow. Her friend Kenta comes to the airport to say goodbye to her.

Question: What will Kenta say to Emily?

（訳）エミリーはカナダからの留学生です。彼女は1年間日本に滞在し、明日カナダに帰ります。友だちのケンタが、彼女にお別れを言うために空港に来ています。
質問：ケンタはエミリーに何と言うでしょうか。

No.5

Yuki is in an English class. She wants to look up a word, but she forgot her dictionary at home. Her friend Mark has a dictionary on his desk.

Question: What will Yuki say to Mark?

（訳）ユキは英語の授業を受けています。単語を調べたいのですが、辞書を家に忘れてきました。友だちのマークの机の上には辞書があります。
質問：ユキはマークに何と言うでしょうか。

No.6

Hello, everyone. I'm Mr. White. Today, I'll talk about my hobby. I love cooking. In America, I often cooked pizza for my family. When I came to Japan two years ago, I couldn't cook any Japanese food. One day, my neighbor, Mrs. Sato, taught me how to make miso soup. It was easy and delicious. Since then, I have cooked Japanese food every weekend. Now I can make tempura, too. Next month, my parents will come to Japan to see me, so I want to cook tempura for them. If you know another good Japanese dish for them, please tell me.

Question 1: Who taught Mr. White how to make miso soup?

Question 2: What does Mr. White do every weekend?

Question 3: What does Mr. White want to do next month?

（訳）みなさん、こんにちは。ホワイトです。今日はわたしの趣味について話します。わたしは料理が大好きです。アメリカでは、よく家族のためにピザを作っていました。2年前に日本に来たとき、日本の料理は何も作れませんでした。ある日、近所に住む佐藤さんが、みそ汁の作り方を教えてくれました。簡単でおいしかったです。それ以来、毎週末に日本の料理を作っています。今では天ぷらも作れます。来月、両親がわたしに会いに日本に来るので、天ぷらを作ってあげたいと思っています。ほかにも両親にぴったりの日本の料理を知っていたら、教えてください。

No.7

Grace: Hi, Kaito. You look happy. What happened?

Kaito: Hi, Grace. My brass band got second place in the contest last Saturday.

Grace: Congratulations! What do you play in the band?

Kaito: I play the trumpet. I started it when I was eleven.

Grace: Cool. When is your next concert?

Kaito: It's on December 20, at the city hall. We'll play some Christmas songs. Would you like to come?

Grace: Yes, I'd love to! Can I bring my brother? He loves music.

Kaito: Of course. The concert is free.

Question 1: What does Kaito play in the brass band?

Question 2: What songs will Kaito's band play at the next concert?

Question 3: Who will Grace bring to the concert?

（訳）グレース：こんにちは、カイト。うれしそうね。何があったの？／カイト：やあ、グレース。この前の土曜日のコンテストで、ぼくの吹奏楽部が2位になったんだ。／グレース：おめでとう！部では何を演奏しているの？／カイト：トランペットだよ。11歳のときに始めたんだ。／グレース：かっこいい。次の演奏会はいつ？／カイト：12月20日に市民ホールであるよ。クリスマスの歌を何曲か演奏するんだ。来ない？／グレース：ええ、ぜひ！弟を連れて行ってもいい？音楽が大好きなの。／カイト：もちろん。演奏会は無料だよ。

1　No.1（2点）

ウ

答え: ウ

・"I'd like to **send** this to my friend in Canada."（これをカナダの友だちに**送りたい**）、"When will it **get to** Canada?"（いつカナダに**着きますか**）から、荷物を送る場所＝**郵便局**と分かる。

・book（本）が聞こえるが、本は送る中身。本を買う話ではないので本屋（ア）ではない。

・場所の問題は、場所の名前そのものが出てこないことが多い。send・get to・"Please put it here." のような**そこでする行動**から場所を考える。

1　No.2（2点）

イ

答え: イ

・Ken の "it's a nice **sunny** morning"（晴れたいい朝）→ 午前は晴れ。

・母の "the weather news said it will **rain** this afternoon"、"the rain will start at about one o'clock" → 午後は雨。

・"it will be **cloudy** all day **tomorrow**" は**明日**の天気。質問は today（今日）なので、ア・ウの「くもり」は×。

・天気の問題は「いつの天気か」（now／this afternoon／tomorrow）を聞き分ける。

1　No.3（2点）

ア

答え: ア

・"Go straight along this street and turn **right** at the **second** corner."＝この通りをまっすぐ行き、**2つ目**の角を**右**に曲がる。

・"you will see the museum on your **left**"＝右に曲がったあと、**左手**に見える。右に曲がって進むと、左手は地図の上側になる。

・イは2つ目の角を右に曲がって右手、ウは2つ目の角を左に曲がった先、エは1つ目の角を右に曲がって右手。

・turn right / turn left（右／左に曲がる）、on your right / on your left（右手／左手に）、the first / second corner（1つ目／2つ目の角）を区別する。

1　No.4（2点）

エ

答え: エ

・Emily は明日カナダに**帰る**。Kenta は空港に **say goodbye**（お別れを言う）ために来ている。

・別れの場面の決まり文句は **I'll miss you.**（さびしくなるね）。Have a nice trip.（よい旅を）／Take care.（元気でね）／Please come back again. も同じ場面で使う。

・アは初めて会ったとき、イは物を手わたすとき、ウはお礼を言われたときの表現。

1　No.5（2点）

イ

答え: イ

・Yuki は辞書を家に忘れた。Mark の机には辞書がある。Yuki は Mark の辞書を**使わせてもらいたい**。

・「～してもいいですか」と**許可を求める**ときは **May I ～?**（ていねい）か **Can I ～?**。May I use your dictionary?＝あなたの辞書を使ってもいいですか。

・ア Shall I ～? は「(わたしが) ～しましょうか」と申し出る表現で、辞書を持っていない Yuki が言うのはおかしい。ウ・エは辞書を借りたいという場面に合わない。

1　No.6 (1)（3点）

イ

答え: イ

・"One day, my **neighbor**, Mrs. Sato, taught me how to make miso soup." より、教えたのは近所に住む佐藤さん。

・neighbor（近所の人）と Mrs. Sato が同じ人を指している。母親や生徒の話は出てこない。

1　No.6 (2)（3点）

エ

答え: エ

・"Since then, I have **cooked Japanese food every weekend.**" と一致。

・ピザを家族に作っていたのは**アメリカにいたころ**（In America, I often cooked pizza）なので、アは×。

・質問の every weekend（毎週末）という語を手がかりに、その前後を聞く。

1　No.6 (3)（3点）

ア

答え: ア

・"**Next month**, my parents will come to Japan to see me, so I want to **cook tempura for them.**" と一致。them は my parents（両親）のこと。

・アメリカに帰るのではなく、両親が日本に来る（イは×）。

1　No.7 (1)（3点）

trumpet

答え: trumpet

・Grace の "What do you play in the band?" に Kaito が "I play the **trumpet.**" と答えている。

・楽器を演奏するときは play the ＋楽器。つづりは t-r-u-m-p-e-t。

1　No.7 (2)（3点）

Christmas

答え: Christmas

・Kaito の "It's on December 20, at the city hall. We'll play some **Christmas** songs." より。

・Christmas は人名・行事の名前と同じく、文の途中でも**大文字**で書き始める。t を落とさないこと（Christ**m**as）。

1　No.7 (3)（3点）

brother

答え: brother

・Grace の "Can I bring my **brother**? He loves music." に Kaito が "Of course." と答えている。

・答えの文の主語が She なので、my brother は her brother になる。

2　問1（4点）

information

答え: information

・日本語のメモ「もっと**情報**がほしい人は、ボランティア部の部長のKentaに聞いてください」に対応。「情報」は **information**。

・"If you want more (information), please ask Kenta"＝もっと情報がほしいなら、Kenta に聞いてください。

・information は**数えられない名詞**なので、s をつけない（×informations)。「たくさんの情報」は a lot of information、「1つの情報」は a piece of information。

・つづりに注意：in-for-ma-tion（for のあとに ma)。

2　問2（A)（3点）

ウ（science)

答え: ウ (science)

・日本語のメモ「会場は本校の**理科室**です」に対応。理科は **science**、理科室は **science room**。

・music room（音楽室)、art room（美術室)、computer room（コンピューター室）も教科名＋room で表す。

・ほかの教科名：English（英語）／Japanese（国語）／math（数学）／social studies（社会）／P.E.（体育）／home economics（家庭科)。

・実験をする部屋なので、内容からも science が合う。

2　問2（B)（3点）

ウ（to drink)

答え: ウ (to drink)

・日本語のメモ「何か**飲み物**を持ってきてください」に対応。

・**something to drink**＝「何か飲むもの」。**to＋動詞の原形**が前の名詞（something）を後ろから説明する、不定詞の**形容詞的用法**。

・同じ形：something to eat（何か食べるもの）／time to go（行く時間）／a lot of homework to do（するべきたくさんの宿題)。

・drink・drinks・drinking は something のすぐあとに置いて「飲むための」の意味を表せない。

2　問2（C)（3点）

エ（winter)

答え: エ (winter)

・日本語のメモ「**冬休み**中の12月26日（土）に」に対応。冬は **winter**、冬休みは **winter vacation**。

・季節：spring（春）／summer（夏）／fall・autumn（秋）／winter（冬)。12月は冬なので、日付からも winter と分かる。

・「冬に」は **in winter**、「この冬」は this winter（in をつけない)。

2　問3（4点）

（解答例）① What experiments will we do with the children? ② What time will the event finish?

解答例: ① What experiments will we do with the children? ② What time will the event finish?
訳: ① 子どもたちとどんな実験をするのですか。② イベントは何時に終わりますか。
ほかの例: ① What kind of experiments will we do? ② What should I wear on that day? ／ Do I need to bring my lunch?
採点ポイント:
・1文目は What で始まる**疑問文**で、どんな実験をするかをたずねている（What ＋名詞＋will we do ～? / What kind of ～?）
・2文目は語群（lunch / wear / finish）を1語以上使った**疑問文**で、お知らせに書かれていないこと（終わる時刻・服装・昼食など）をたずねている。お知らせに書いてある日付・場所・集合時刻・持ち物をたずねるのは不可
・文の終わりは「?」。疑問詞のあとは**助動詞・be動詞・do＋主語**の順
・2文で書く。文法・スペルの正確さ

3　問1（3点）

A

答え: A
・補う文: **But I practiced every day after school, and three months later, I could do it.**（でも、わたしは毎日放課後に練習して、3か月後にはできるようになりました）
・A の前は「技をまねしてみたが、ヨーヨーが**一度も手にもどってこなかった**」。But（でも）でそれと反対の内容「練習してできるようになった」が続くのが自然。it は「ヨーヨーを手にもどす技」を指す。
・B の前は、ステージで技を見せてみんなが拍手した場面で、「でも練習してできるようになった」とはつながらない。C の前は Leo と誕生日が同じだと分かった場面で、つながらない。

3　問2（4点）

2番目=ア（there）・4番目=エ（who）

答え: 2番目 = ア (there), 4番目 = エ (who)
・正しい語順: **Is there anyone who wants** → "**Is there anyone who wants** to show a trick on the stage?"
・1: Is (ウ) / 2: there (ア) / 3: anyone (イ) / 4: who (エ) / 5: wants (オ)
・**There is ～.**（～がいる・ある）の疑問文は、is を there の前に出して **Is there ～?** とする。答えは Yes, there is. / No, there isn't.
・anyone（だれか）を who wants to ～（～したい）が後ろから説明している。anyone は単数あつかいなので want に s がついた wants になる。
・文の最後の「?」と、そのあと Yuka が手をあげたこと（I raised my hand）から、「～したい人はいますか」とたずねる文だと分かる。
・**訳:** ステージで技を見せたい人はいますか。

3　問3（3点）

イ（one）

答え: イ (one)

・"My yo-yo is new, but I want an old (one) like yours."＝ぼくのヨーヨーは新しいけど、きみのような古いものがほしい。

・**one** は前に出た数えられる名詞（ここでは yo-yo）のくり返しをさけるための代名詞。「同じ種類のもの（どれか1つ）」を表す。**an old one** のように、a / an ＋形容詞のあとに置ける。

・**it** は「前に出た**その**もの」を指す。Yuka のヨーヨーそのものがほしいのではなく、古いヨーヨーが1つほしいので one。また、it や that、them は an old のあとに置けない。

・them は複数のものを指す。

3　問4（4点）

the same

答え: the same

・本文 "I learned that his birthday is June 3. My birthday is June 3, too!" より、2人の誕生日はどちらも6月3日。

・**the same ～**＝「同じ～」。same の前にはいつも **the** をつける（×a same）。have the same birthday＝誕生日が同じだ。

・同じ形：We are in the same class.（わたしたちは同じクラスです）／I have the same bag as you.（わたしはあなたと同じかばんを持っている）。

3　問5（4点）

イ

答え: イ

・第3段落 "I was nervous, but I raised my hand." と一致。though は「～だけれども」。

・ア: おじがくれたのは**自分の古い**ヨーヨー（his old yo-yo）。新しく買ったのではない。

・ウ: Leo が話しかけてきたのは "**After** the show"（ショーのあと）。

・エ: いっしょに練習するのは every **Sunday**（毎週日曜日）。

4　問1（4点）

Shotaたちが去年、市の有名な場所を訪れて作った、英語の案内地図。

答え例:「Shota たちが去年、市の有名な場所を訪れて作った、英語の案内地図。」

・下線部①の That は、直前の Shota の発言 "Last year, my classmates and I visited many famous places in our city and made a **guide map in English**." の a guide map in English（英語の案内地図）を指す。

・**採点ポイント**:「英語の」「案内地図（ガイドマップ）」の2要素。「去年、Shota たちが作った」などの説明があるとよりよい。

・このあと Jacob が "I want to see **it**!"、Riko が "can you bring **it** tomorrow?" と言っていて、次の場面で2人が地図を見ていることからも、見たり持ってきたりできる「もの」だと確かめられる。

4　問2（4点）

2番目=エ（long）・4番目=ウ（it）

答え: 2番目 = エ (long), 4番目 = ウ (it)

・正しい語順: **How long does it take** → "**How long does it take** to get there from the station?"

・1: How (イ) / 2: long (エ) / 3: does (オ) / 4: it (ウ) / 5: take (ア)

・**How long ～?**＝「どのくらい（の時間・長さ）～？」。How long は2語で1つの疑問詞のように文の先頭に置き、そのあとは **does＋主語＋動詞の原形**の疑問文の語順。

・**It takes ＋時間＋to ～.**＝「～するのに（時間が）かかる」。この it は「それ」と訳さない。

・Shota が "About twenty minutes on foot."（歩いて約20分）と**時間**で答えていることからも、時間をたずねる文だと分かる。

・**訳**: 駅からそこへ行くのに、どのくらい時間がかかりますか。

4　問3（3点）

イ

答え: イ

・1 の Shota の発言 "Last year, my classmates and I ... made a guide map in English." と一致。

・ア: 家族が滞在するのは "for **three days**"（3日間）。

・ウ: 橋が造られたのは "about four **hundred** years ago"（約400年前）。

・エ: Jacob は "My sister is only six, so we'll take the **bus**." と言っている。

4　問4（3点）

ウ（oldest）

答え: ウ (oldest)

・"It's the (oldest) bridge in our city."＝それは市で**いちばん古い**橋です。

・空所の前に **the**、後ろに **in our city**（市の中で）があるので、「…の中でいちばん～」を表す**最上級**を選ぶ。**the ＋最上級（-est）＋名詞＋in / of ～**。

・old のような短い語は -est をつけて oldest。most をつけるのは beautiful・popular・interesting など長い語（the most beautiful）なので、エ most old は×。

・イ older は比較級（「～より古い」）で、than とともに使う。

・in と of の使い分け：in のあとは場所・集団（in our city / in my class）、of のあとは複数を表す語（of the three / of all）。

4　問5（4点）

ウ

答え: ウ

・Mr. Kimura の "I have guided visitors here for ten years." と一致（here は Hoshino Bridge）。

・ア: Shota は "My grandfather **knows** him well."（祖父が彼をよく知っている）と言っているだけで、祖父本人ではない。

・イ: 橋を造ったのは "the people of **this town**"（この町の人々）。外国の人が多いのは「今日、橋に来ている人」の話。

・エ: Jacob は "Your English is **easy** to understand." と言っている。

4　問6（3点）

ア

答え: ア

・Riko が「青いはっぴを着たあの男の人を見て」と話題にした人について、直後に Shota が "**He is Mr. Kimura.** He is a volunteer guide." と、**だれなのか**を答えている。

・知らない人について「あれはだれ？」とたずねるのは **Who's that?**（Who's that man? / Who is he?）。物なら **What is it?** / What's that?

・イは体調や様子、ウは行き先、エは持ち物をたずねる文で、"He is Mr. Kimura." という答えに合わない。

4　問7（4点）

does his

答え: does his

・3 の Mr. Kimura の発言 "My English is not perfect, but I always try as hard as I can."（わたしの英語は完ぺきではないが、いつもできるだけ一生けんめいやっている）より。

・**do one's best**＝「全力をつくす、ベストをつくす」。one's の部分は主語に合わせて my / your / his / her / our / their に変える。

・主語が Mr. Kimura（3人称単数）で、always（いつも）があるので現在の文。do は **does**、one's は **his** になる。

・I'll do my best.（全力をつくします）は、決意を伝えるときの決まった言い方として覚えておく。

5　問1（3点）

ア

答え: ア

・第2段落 "When I was eight, I joined the event for the first time." と一致。

・イ: "The mallet was **so heavy that I couldn't lift it well.**"（きねがとても重くて、うまく持ち上げられなかった）ので不一致。

・ウ: おじいさんは "**Don't** hurry."（急がなくていい）と言った。

・エ: もちをついたのは家ではなく、近所の人たちと**地域のセンター**で（at the community center）。

5　問2（3点）

イ

答え: イ

・第3段落 "So last year, my friends and I asked the people in our neighborhood to start it again." と一致。ask 人 to 〜＝人に〜するようにたのむ。

・ア: 行事が止まった理由は "there were not enough people to help"（手伝う人が足りなかった）。

・ウ: "some small children joined it for the first time" とあり、子どもも参加した。

・エ: 去年、小さな男の子を手伝ったのは **Mana**（I helped a little boy）。

5　問3（6点）

（解答例）① My best memory of a seasonal event is the summer festival in my town. ② I went there with my friends last year. We wore yukata and watched beautiful fireworks together.

解答例: ① My best memory of a seasonal event is the summer festival in my town. ② I went there with my friends last year. We wore yukata and watched beautiful fireworks together.
訳: ① わたしの季節の行事のいちばんの思い出は、町の夏祭りです。② 去年、友だちとそこへ行きました。わたしたちはゆかたを着て、いっしょにきれいな花火を見ました。
採点ポイント:
・①は My best memory of a seasonal event is 〜. の形で、行事が1つ書かれている（the summer festival / New Year's Day / the Doll Festival / Setsubun など）
・②は、その行事であったことが具体的に2文以上（いつ・だれと・何をしたか・どう感じたか）。過去のできごとなので**過去形**で書く
・全体で3文以上
・文法・スペルの正確さ（日本語の語は yukata, mochi のようにローマ字で書いてよい）